

防災かるた

防災を考える会

防災かるた

- 防災かるた作成
- かるた大会
自主開催・かるた貸し出し

防災かるた作成

- 作成(発案)の段階より子供たちと一緒に
学校と連携して行う。
- 夏休みの宿題として公募する。
- 審査には地域の人も参加する。
- 作成には地域の方々も一緒に。

経過（4月から7月）

- 実行委員会会議
（30回、4月より現在まで）

- 募集要領作成（6月完成）

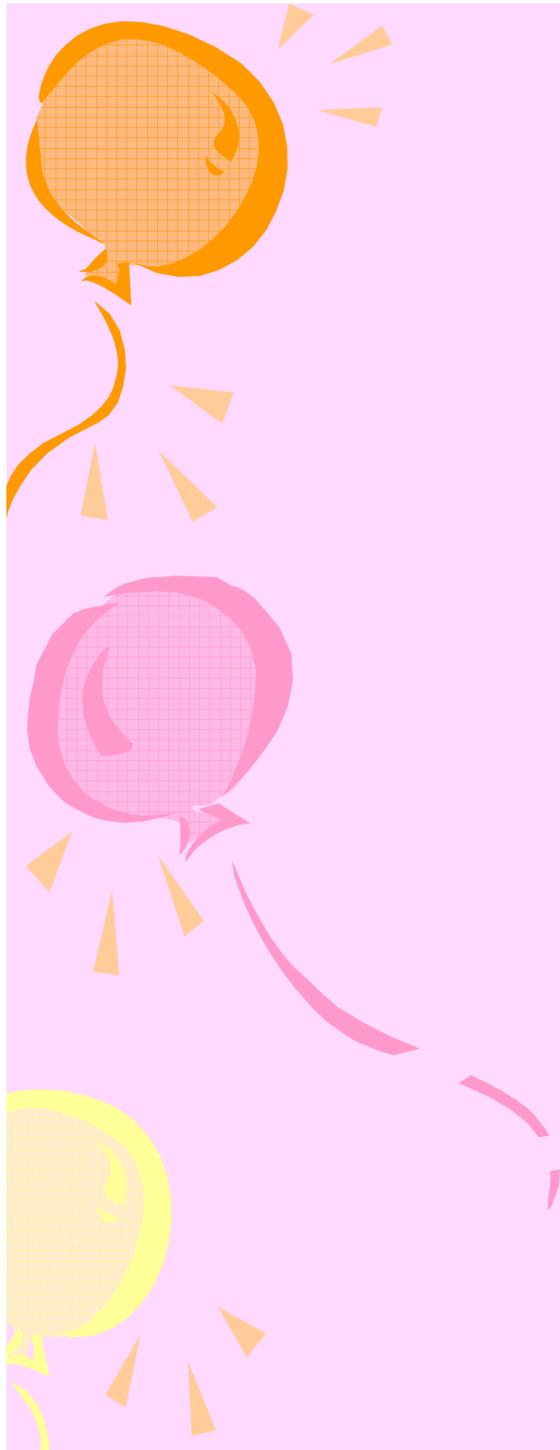
• 各学校へのアプローチ
（20回、3月より活動開始）

合計9000枚

- 要領配布
（7月初旬、大磯2校、平塚28校、
茅ヶ崎18校、私立小学校3校
県立盲学校、聾学校
知的障害者施設1ヶ所。

PR 等

- FM放送出演 5月21日
- 平塚地域防災懇談会 6月・9月・11月
- 七夕飾り作成5月末より開始
平塚たなばたま祭り期間 7月1日～5日
- 小学校PTA主催防災キャンプに参加
7月24・25日
- 新聞・地元タウン誌掲載 数回
- 親と子の防災デー 8月22日
- TV神奈川放映 8月29日
- 政府広報番組出演(フジTV系列)8月27日)





あなどるな 地しんのこわさ おそろしさ

小学生から句、絵募り

防災かるた完成

平塚の20組複製中

平塚市内の主婦らの自主防災グループ「防災を考える会」（添田睦子代表）が製作していた「防災かるた」が、完成した。市内外の小学生からアイデアを募り、児童が夏休みに苦心して考えた句や絵が題材。考える会では二十組の複製かるたを作り、一月にかつた会を開くこととしている。



防災かるたを作るボランティアの中学生ら（ひらつか市民活動センターで）

この試みは、内閣府の「二〇〇四年度防災教育チャレンジプラン」に採用されたもので、防災かるたを複製し、防災意識の啓発を行うのが狙い。

考える会が、地元の平塚市をはじめ、茅ヶ崎市、大磯町の小学校に夏休みを利用して防災の句と絵を募集したところ、三百九十五人の児童から、五百十八点の句と百七十点の絵が寄せられた。

審査では、甲乙つけがたい作品も多く、「捨てるのは惜しい」との意見もあり、読み札の文字によっては二種類の句が、取り札の絵についても、複数の絵が採用されることになり、句は五十五種類、絵は六十一枚が採用された。

例えば「あ」の読み札では、「あなどるな 地しんのこわさ おそろしさ」あわてない 持ち出しぶくろ つしも「ろー」。「ね」の札では、「ねるへやの大きいものはこいていする」となっている。

考える会では、この原案

をもとに、市立浜岳中学校や県立高浜高校の生徒約十人にボランティア活動として協力を求め、休みの日を利用して、現在、二十組のかるたの複製を製作している。

かるた事務局担当の山内享子さんは「美しいかるたを作るのではなく、かるたを通して一人でも多くの人が防災に関心を持ってくれればいいと思っています」と、完成を楽しみにしている。



経過（8月から11月）

- 試作品作成 8月下旬
- 作品回収 9月10日より16日
(応募者総数278名・作品句518点・絵170点)
- 審査委員会開催 9月18日・10月1日・10月8日
- 入賞作品決定 10月8日
- 参加賞・入賞作品賞購入
- 賞状作成
- 資材購入
- カルタ作成開始









経過（12月から現在）

- 「防災かるた」完成！！（20セット）
- 各学校で表彰式
- 全体の表彰式 & かるた大会
- 河川情報板
（平塚駅前・八王子駅前・川崎駅・二ヶ領宿河原堰）
- 地域・学校（総合学習など）でのかるた大会







これからも

- 手作り“防災かるた”

多くの方々と共に

楽しみながら

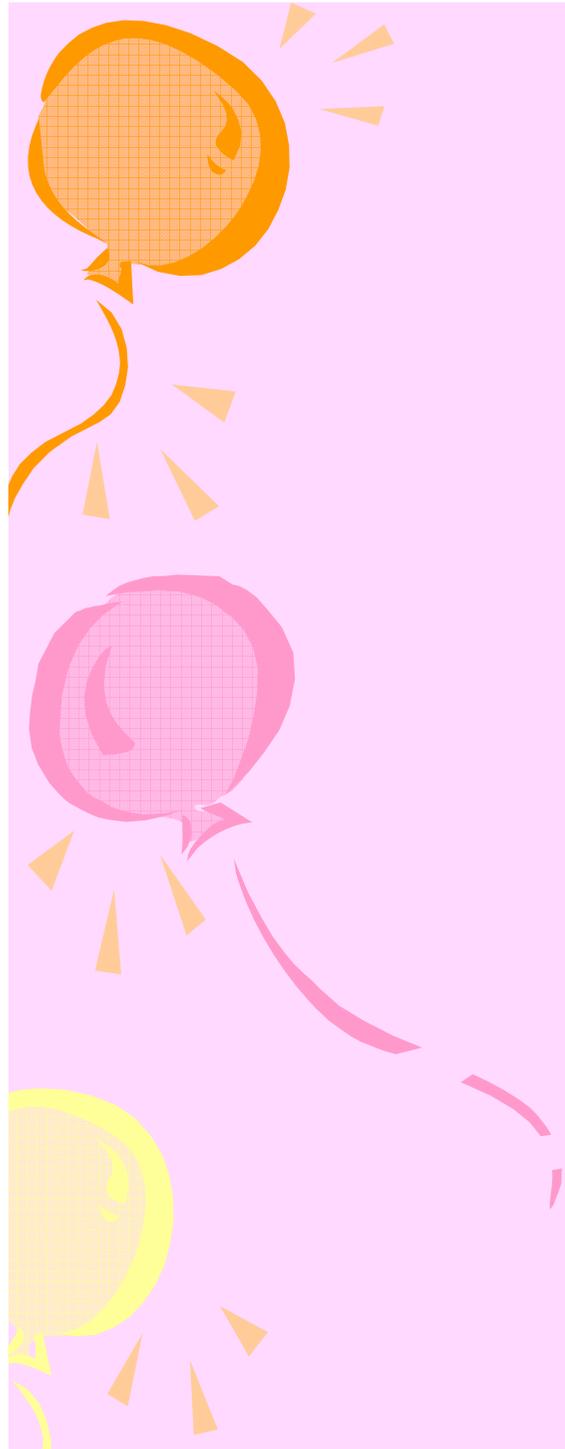
防災の輪を拡げます！！

防災ミニ集会



まちあるき





終わり

ありがとうございました